ムーミン列車新聞

～ムーミンと楽しむ旅～

2017年1月31日発行
28年8月

5年 大槻 南実

いすみ鉄道は、千葉県の房総半島にあるローカル線で全長28.8キロメートル。走っているのは「いすみ200型」ディーゼルカー。バスとの共用部品も多いことから「レールバス」ともよばれています。

8月20日 いすみ鉄道で発見の旅へ出発！

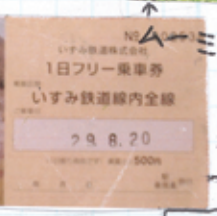
大多喜城

緑にかこまれていました。

ムーミンショップ

ムーミン池

緑がすてきな所です。



乗車けん

城見丘 上総中川 風そよぐ谷 国吉 デジタルサポート 大多喜 小谷松 新田野 上総東 西大原 大原 上総元 参院学院大学 久我原 上総中野 西畑 上総元

はのりおりした駅

いすみ鉄道
ムーミン列車のりば

小さなムーミン＆鉄道発見

私的にはいかがでしょうか。いきのいいかがわす。好きなのね。

この写真は大原駅でとられた一枚です。自動販売機の横を見ると電車になっています。二種類あります。

おなじならべてあるたのは、本物の電車で、よく見ると花びんにしたものです。色合いがいいなあと思いました。

この写真は国吉駅でとられた一枚です。花だんが列車に大変身！たくさんの駅で見ることができます。

町のムーミン発見

ムーミンの電車があるため、町にもムーミンはたくさんいました。カフェにはムーミンのぬいぐるみがおいてありました。いろいろなところに、木でできたムーミンがたくさんいました。とてもかわいいです。

こだわりの車両発見

この写真は国吉駅でとられた一枚です。私とかわいいムーミンがいっしょにうっています。この広場には、ムーミンの仲間たちや家などが置かれています。

なぜこんなにムーミンにこだわっているの？

ある日、ムーミン谷で宝物が見つかりました。欲張りなスニフはぼくが見つけたから全部ぼくの物だと言い、持ちかえろうとします。そこでスナフキンがいうのです。「君が見ているのは君の物だ。それでいいじゃないか。ここに置いていきなさい」と。社長さんは、今の日本にスナフキンのような考え方がたりない、と思いムーミンにこだわっているのだそうです。

いすみ鉄道発見

キハ52型
ディーゼルカー

エンジン音や振動、独の臭いなどの五感すべてを楽しむことができます♪

古き時代長さんを今ました。みんなとてもよき人、そして、なんと、社長にあうことができるかもしれない。すてきなところでみがえらせてくれる。

車内

ところも全部、かわいくなっていました。

まかいどころ

走っているときはバスにのっているような感じでした。

ワンコインなので、一番うしろで、けしきを見ることができます。

イラストがたくさんかいてあったり、シールがはられたりしていました。

編集後記

今回の旅は出会いがある旅でした。愛知から来た人、大多喜高校の男の人、そして、なんと、社長にあうことができました。みんなとても親切で、すてきなところでした。親切にしてくださったお、どうもありがとうございました。